

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院脳神経外科に、脳卒中で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学脳神経外科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する観察研究という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学脳神経外科学講座 講師 八子理恵

3. 研究の目的

超高齢社会の本邦において、後遺障害による寝たきりを招来する脳卒中の救急治療は喫緊の課題です。高齢者医療費の最大の原因である脳卒中の患者数は今後も更に増加し、2020年には300万人に達すると予想されています。緊急性の高い脳卒中治療については、医療機関の集約化、広域化と連携強化は避けて通れないといわれております。当院だけでなく全国の脳卒中の患者さんを対象に、通常の診療で得られたデータを収集・解析することにより脳卒中センター認定および環境の変革に伴う診療体制および施設間連携体制を評価し、より良い治療法を確立することを目的としています

本研究は、神戸市立医療センター中央市民病院が主となる脳卒中関連の全国疫学調査です。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2019年1月1日から2021年12月31日までの間、当院を受診され、脳卒中急性期の治療を受けられた患者さん。

(2) 研究期間

当院の研究倫理審査委員会承認日から2024年3月31日

(3) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂く診療データは、年齢・性別・発症年月日・入院年月日・病名・重症度・治療(薬物、手術など)の内容・臨床検査値、CT等の画像所見・治療経過などです。

(3) 方法

データは匿名化を行った状態で、データセンターに収集され、これらの情報を統計学的手法によって解析します。

A 研究代表者

坂井 信幸、神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科

B 分担研究者

岩間 亨（岐阜大学）
宇野 昌明（川崎医科大学）
小笠原 邦昭（岩手医科大学）
岡田 靖（国立病院機構九州医療センター）
木村 和美（日本医科大学）
黒田 敏（富山大学）
後藤 励（慶応大学）
塩川 芳昭（杏林大学）
高木 康志（徳島大学）
富永 悌二（東北大学）
豊田 一則（国立循環器病研究センター）
橋本 洋一郎（熊本市民病院）
松丸 祐司（筑波大学）
宮本 享（京都大学）
吉村 紳一（兵庫医科大学）

C 研究事務局

脳卒中の急性期診療体制における施設間連携体制構築のための研究班事務局
〒650-0047 神戸市中央区港島南町 2-1-1
神戸市立医療センター中央市民病院 臨床研究推進センター内
担当 坂井 千秋、今村 博敏
TEL: 078-302-4321、FAX: 078-302-4640、E-mail: c_keghcsc-res@kcho.jp

5. 個人情報の取扱い

研究データから、患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し匿名化しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

本研究は、厚生労働科学研究費を利用して実施します。本研究に関する企業との利益相反はなく、企業は研究の計画、解析に関与しません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学脳神経外科学講座 担当医師 八子理恵

TEL : 073-441-0609 FAX : 073-447-1771